



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社 東京機械製作所
 コード番号 6335 URL <http://www.tks-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木船 正彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菊池 好一

TEL 03-3451-8143

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	6,898	25.3	1,366		1,314		1,156	
2019年3月期第3四半期	9,241	16.2	13		142		451	

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,146百万円 (%) 2019年3月期第3四半期 434百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	132.47	
2019年3月期第3四半期	51.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	15,083	8,291	48.9	846.17
2019年3月期	18,050	9,537	47.6	985.20

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 7,385百万円 2019年3月期 8,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		11.00	11.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,390	1.2	3	99.2	20	96.1	40	94.9	4.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - 以外の会計方針の変更 : 無
 - 会計上の見積りの変更 : 無
 - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	8,728,920 株	2019年3月期	9,027,920 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,059 株	2019年3月期	299,537 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	8,728,122 株	2019年3月期3Q	8,728,755 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用情勢を背景に引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、国外では米中貿易摩擦の悪化や中東情勢の緊張など、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが主として事業を展開しております新聞業界は、依然として設備投資に対する姿勢は慎重で、既存設備を長期的に使用する傾向にあります。

このような事業環境のもと、当社は、輪転機の売上拡大に向けた積極的な営業活動や受注確保に努めることにより、保守サービス事業の強化やマーケット・インの考え方に転換した製品開発やサービスの提供を行うことで、連結ベースで黒字体質へと変貌しつつあります。また、新規事業の構築に向けた連結子会社の活用、AI関連事業の拡大による輪転機ビジネスに係わる事業の創出などのアプローチを図っております。

このような中で、当社は、輪転機の売上拡大に向けた積極的な受注確保に努め、当第3四半期連結累計期間においては、静岡新聞社様より5セット、朝日新聞社様より2セット「カラートップ・エコワイドIIオフセット輪転機」を新規受注いたしました。また、日本経済新聞社様に2セット、アサガミプレスセンター様に1セット「カラートップ・エコワイドIIオフセット輪転機」を納入いたしました。その他、中日新聞社様、北海道新聞社様から受注済みの「カラートップ・エコワイドIIオフセット輪転機」を一部納入または生産中であり、工事進行基準に従い売上高を一部計上しております。

当第3四半期連結累計期間においては、前年同四半期と比べ売上高、利益共に減少し、営業利益の計上には至りませんでした。上半期に見込んでいたオフセット輪転機の新規受注案件の契約が下半期となったことなどの影響により、期初の見込みを下回る結果となりました。しかしながら、2019年8月に生産性改善を主な目的として発足した生産管理部を中心に、生産性向上を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の業績については、以下のとおりであります。

《売上高》

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、前年同四半期と比べ売上減となり、68億9千8百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。

《営業損益》

損益面では、設計、製造の各方面で変動費、固定費のコストダウンに努めましたが、当第3四半期連結累計期間の営業損失は13億6千6百万円（前年同四半期は営業利益1千3百万円）となりました。

《経常損益》

営業外収益では、受取保険金4千5百万円等を計上、営業外費用では為替差損2千1百万円等を計上した結果、経常損失は13億1千4百万円（前年同四半期は経常利益1億4千2百万円）となりました。

《特別損益》

特別損益の部では、特別損失に本社移転損失9百万円およびゴルフ会員権評価損4百万円を計上しました。

以上の結果、税金等調整前四半期純損失は13億2千7百万円（前年同四半期は税金等調整前四半期純利益6億3千4百万円）となり、当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純損失は11億5千6百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益4億5千1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ29億6千7百万円減少し、150億8千3百万円となりました。

資産の部では、受取手形及び売掛金の減少等により流動資産が28億7千4百万円減少し110億8千6百万円となり、固定資産は9千2百万円減少し39億9千7百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金の減少等により流動負債が13億4千2百万円減少し29億9千4百万円となり、固定負債は3億7千9百万円減少し37億9千6百万円となりました。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ12億4千5百万円減少し82億9千1百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、2019年11月13日に公表いたしました2020年3月期通期連結業績予想を修正しております。修正の詳細は本日別途開示している「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,686,364	4,220,712
受取手形及び売掛金	7,159,778	4,819,487
仕掛品	1,430,320	1,155,572
原材料及び貯蔵品	530,971	559,148
その他	160,549	338,189
貸倒引当金	△7,574	△7,064
流動資産合計	13,960,410	11,086,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,103,812	1,034,235
機械装置及び運搬具(純額)	343,927	296,558
土地	1,889,606	1,889,606
リース資産(純額)	43,008	33,364
建設仮勘定	—	18,616
その他(純額)	63,959	69,026
有形固定資産合計	3,444,314	3,341,408
無形固定資産		
その他	14,513	20,453
無形固定資産合計	14,513	20,453
投資その他の資産		
投資有価証券	256,535	256,537
その他	389,954	398,507
貸倒引当金	△15,258	△19,608
投資その他の資産合計	631,231	635,437
固定資産合計	4,090,059	3,997,298
資産合計	18,050,470	15,083,344
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,982,696	1,959,535
未払法人税等	288,067	48,489
前受金	425,480	276,707
賞与引当金	254,406	119,013
製品保証引当金	82,900	72,229
受注損失引当金	7,334	2,696
本社移転損失引当金	—	5,881
その他	296,158	510,046
流動負債合計	4,337,043	2,994,599
固定負債		
役員退職慰労引当金	18,120	20,499
退職給付に係る負債	3,830,306	3,667,372
環境対策引当金	58,674	58,674
その他	269,122	50,205
固定負債合計	4,176,222	3,796,751
負債合計	8,513,266	6,791,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,892,000	4,435,000
資本剰余金	1,449,079	1,335,514
利益剰余金	3,358,509	2,106,262
自己株式	△571,589	△1,233
株主資本合計	9,127,999	7,875,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	772	775
為替換算調整勘定	△207,148	△193,198
退職給付に係る調整累計額	△322,359	△297,814
その他の包括利益累計額合計	△528,735	△490,237
非支配株主持分	937,940	906,687
純資産合計	9,537,203	8,291,993
負債純資産合計	18,050,470	15,083,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	9,241,397	6,898,317
売上原価	7,729,266	6,903,421
売上総利益又は売上総損失(△)	1,512,131	△5,104
販売費及び一般管理費	1,498,586	1,361,686
営業利益又は営業損失(△)	13,544	△1,366,790
営業外収益		
受取利息	9,485	3,656
受取配当金	9,601	6,049
受取保険金	28,754	45,112
為替差益	53,750	—
その他	31,833	28,110
営業外収益合計	133,424	82,928
営業外費用		
為替差損	—	21,940
その他	4,780	8,298
営業外費用合計	4,780	30,238
経常利益又は経常損失(△)	142,188	△1,314,100
特別利益		
固定資産売却益	447,493	—
投資有価証券売却益	47,833	—
特別利益合計	495,326	—
特別損失		
固定資産売却損	183	—
投資有価証券売却損	2,913	—
ゴルフ会員権評価損	—	4,350
本社移転損失	—	9,348
特別損失合計	3,097	13,698
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	634,417	△1,327,798
法人税、住民税及び事業税	156,962	43,621
法人税等調整額	△14,935	△186,432
法人税等合計	142,026	△142,811
四半期純利益又は四半期純損失(△)	492,391	△1,184,987
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	40,688	△28,752
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	451,702	△1,156,235

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	492,391	△1,184,987
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,308	1
為替換算調整勘定	△44,098	13,949
退職給付に係る調整額	15,111	24,545
その他の包括利益合計	△58,295	38,496
四半期包括利益	434,095	△1,146,490
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	405,432	△1,117,736
非支配株主に係る四半期包括利益	28,663	△28,753

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(1) 当社は、2019年6月27日開催の定時株主総会決議に基づき、2019年6月28日付で、会社法第447条第1項および会社法第448条第1項の定めに基づき、資本金の額および資本準備金の額の減少を実施しております。

この結果、資本金の額が457,000千円、資本準備金の額が114,250千円それぞれ減少し、その他資本剰余金が571,250千円増加しております。

(2) 当社は、2019年5月23日開催の取締役会決議に基づき、2019年6月28日付で、自己株式299,000株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金および自己株式がそれぞれ570,565千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,335,514千円、自己株式が△1,233千円となっております。

(3) 当社は、2019年6月27日開催の定時株主総会の決議に基づき、2019年6月28日付で、会社法第452条の定めに基づき、固定資産圧縮積立金の目的外取り崩しを実施しております。その結果、固定資産圧縮積立金が457,535千円減少し、繰越利益剰余金が457,535千円増加しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループには、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、下記施策の確実な実行により、改善ならびに解消が実現できると考えております。

- ・更新需要の取込みによる売上高の積み増し
- ・保守サービス事業の強化による売上高の積み増し
- ・原価低減および経費削減
- ・グループ全体の効率化
- ・新分野の開拓
- ・資金調達も含めた流動性資金の安定的確保

従いまして、当四半期連結会計期間の末日現在において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断し、四半期連結財務諸表の「継続企業の前提に関する注記」には記載しておりません。